

「ゾルベツキシマブによる悪心・嘔吐の発現状況の調査」

1. 研究の対象

2024 年 12 月～2025 年 5 月までに大阪急性期・総合医療センターにおいて、進行・再発胃癌に対してゾルベツキシマブ（ZOL）を含む化学療法を受けた患者さん

2. 研究目的・方法

「目的」 ZOL を含む化学療法は、高度催吐性リスクに相当すると考えられるが、現時点では最適な制吐療法が確立されていない。そこで大阪急性期・総合医療センターで、ZOL を使用した症例における悪心・嘔吐の発生状況を調査し、発現があった症例での重症度、治療継続への影響について検討を行う。

「方法」 大阪急性期・総合医療センターにて、ZOL を含む化学療法を受けた患者を対象に悪心・嘔吐の有無、発現日、重症度および治療経過について電子カルテから調査する。

「研究期間」 研究実施許可後から 2030 年 3 月 31 日。

「利用開始予定日」 2025 年 8 月 31 日～

3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：なし

情報： 患者基本情報、ZOL を含む化学療法レジメン、制吐薬の種類、投与スケジュール、悪心・嘔吐の有無、発現日、重症度 等

4. 外部への試料・情報の提供

共同研究機関等へのデータ提供はありません。収集された情報は研究責任者が匿名化した上で厳重に管理し、他者が個人情報を特定できない形で解析・保存します。

5. 研究組織

大阪急性期・総合医療センター 薬局 後藤 光佑

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

大阪市住吉区万代東 3-1-56

大阪急性期・総合医療センター 薬局

研究責任者：薬局 後藤 光佑

電話 06-6692-1201